

## セイヨウタンポポ (西洋たんぽぽ)

名前の意味：西洋からやってきたタンポポの意味。たんぽぽは鼓（<sup>いみ</sup>たいこ）の音の擬音語。子供の遊びで花茎（<sup>か けい</sup>花のついでいる茎）を鼓（<sup>つづみ</sup>）の形にして遊んだことによるという。

分類：双子葉類、キク科、タンポポ属

(キク科の栽培植物：<sup>さいばいしょくぶつ</sup>ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：地面を丸く覆うぎざぎざの葉、ちぎると白い乳液、黄色い花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：<sup>ごうべん</sup>合弁、<sup>れつ</sup>5裂（たくさんの花が集まってひとつの花に見える。1つの花の形は小さくてよく見えない）

花の時期：3—10月

食べ方：若葉をサラダ、根はきんぴら、花は酢（<sup>す</sup>）の物にする。

見分け方：カントウタンポポとシロバナタンポポとは、総ほう片が反り返ること、アカミタンポポとは、果実の色が黄土色（<sup>おうどいろ</sup>）であることで区別できる。

注：最近では、カントウタンポポとの雑種がかなり見られる。正確には遺伝的な解析が必要だが、便宜的に少しでも反り返っているものはセイヨウタンポポとしてよい。

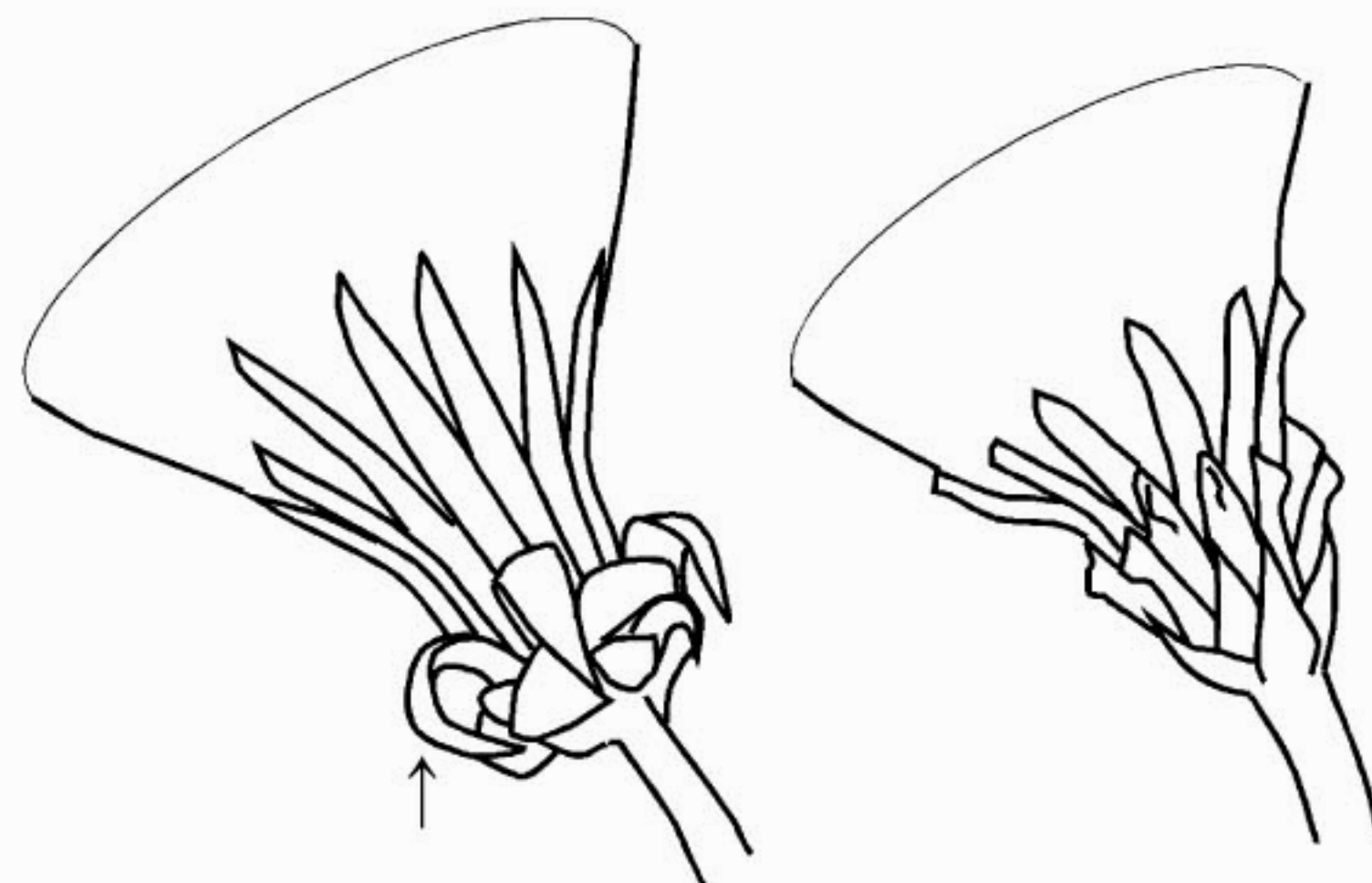
見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、

見分けにくく、難易度が高い)



セイヨウタンポポ

カントウタンポポ